

ひこざ便 No.73

2025・7月特定非営利活動法人無料塾ひこざ

「子どもたちの心のことばを聴きたい」

私たちの脳は外界の様々な情報や刺激をキャッチして喜びや悲しみ、怒りの意識が生まれそれが心となって言葉や行動として外に現れます。まだ言葉を知らない赤ちゃんは泣くことで気持ちを伝えようとしますが脳の発達と共に言葉を増やしてゆきます。私は自宅で「子ども文庫」を開いていた時「ぐりとぐら・てぶくろ・いやいやえん」などの絵本や物語を読みながら子どもたちが新しい豊かな言葉を身につけてゆくのを見てきました。

今、若い人たちの会話を聞いていると「まじ・やば・うざ」などの短い言葉が飛び交っています。言葉は時代と共に変わるものですからそれはそれでおもしろいのですが、自分の心を伝え合う「ことばの引きだし」をたくさん持ちたいとも思います。

埼玉大学名誉教授の暉峻淑子（てるおかいつこ）氏はその著書で戦争の反対語は「対話すること」と述べています。今は「対話」がとてもむずかしい世の中になり意見の違う人とも対話しながら解決の道を探ることが少なくなった気がします、どうでしょうか。

広島県の能美尚子さんがつくった「子どものニーズカード」を使って子どもたちの胸の中のもやもやしたものを形にできるよう、対話をすすめる糸口として各地で広がっていると知り、手にとってみました。

「ひこざ」でもこんなカードを使いながら塾生ひとり・ひとりとの話し合いのきっかけにできたら良いなと思います。

理事 角田 眞喜子

お知らせ

●保護者面談をいたします。保護者と学習支援を担当している学生ボランティア、ひこざスタッフが日頃のひこざでの様子などお伝えします。また御家庭での様子などお聞きできたらと思います。日程を調整等ご協力宜しくお願いします。

●お盆休みのお知らせ

8月12日(火)15日(金)はお盆休みとし、ひこざは休塾です。



ひこざライン

新歓の期間も終わり、20人ほどの新しい大学生が「ひこざらす。」に入ってくださいました。いろいろな人がいることは、子どもたちにとっても、とても有益なことであり、新しい出会いをたくさん経験することで、子どもたちも楽しく豊かな生活を送ることができるのではないかと思います。「ひこざ」という場所がみんなの居場所になってくれたら嬉しいです。

さて今月号では、毎年恒例にはなりますが、新入生の紹介を行いたいと思います。このひこざラインが、交流の第一歩として支えになったら良いなと心から願っています(^^)今月は4人の大学生を紹介します。

『新しい大学生スタッフの紹介！第一弾！』

内容：①所属学部学科、②出身県と地元自慢、③好きな○○、④みんなにひとこと！

依光 涼佑 (よりみつ りょうすけ) さん

- ①教養学部 教養学科
- ②茨城県 全国二位の湖である霞ヶ浦が近くにありますが！
- ③サッカーが好きです！
- ④いろんな人と仲良くなりたいです！

岩澤 快 (いわさわ かい) さん

- ①教養学部 教養学科
- ②栃木県 イチゴが美味しいです！
- ③official髭男dismが好きです！
- ④よろしくお願いします！

畑迫 瑠伊 (はたさこ るい) さん

- ①教養学部 教養学科
- ②埼玉県 とっても静かです！
- ③読書が好きです！
- ④よろしくお願いします！

長谷川 侑希 (はせがわ ゆき) さん

- ①教育学部 心理教育実践学専修
- ②静岡県 さわやかなハンバーグが美味しいです！
- ③邦ロックファンなので詳しい人いたら話したいです！
- ④よろしくお願いします(^^)

高橋 拓暉 (たかはし ひろあき) さん

- ②教養学部教養学科
- ③埼玉県 何もないけどのどかで住みやすい！
- ④野球が好きです！
- ⑤よろしくお願いします！





《イラスト作 成田 直矢》

みんなの広場



ひこぎでの景色からうけとったもの

五十嵐 春菜

私が埼玉大学に入学したのは2015年。ちょうど無料塾ひこぎが発足したタイミングで、いわば「ひこざらす。」一期生としてひこぎに関わらせていただきました。気が付けばあれから10年。無料塾ひこぎも10周年を迎えたとのこと、誠におめでとうございます。

10年前、教員を志していた私は実際に子どもたちと関わる時間を持ちたいと思い、ひこざらす。にジョインしました。ひこぎで過ごした3年間で、さまざまな境遇や悩みをもった子どもたちと対峙しました。私が担当していたお子さんがひこぎへ通えなくなってしまって自分を責めたこともあり、一方で、卒業したお子さんが「五十嵐さんに会いに来ました」と笑顔で訪ねてきてくれたこともありました。声色まで蘇ってくるような子どもの言葉や、空気まで伝わってくるような場面の記憶もあります。そこには子どもたちの温度があり、大学生の温度があり、地域の方々の温度がありました。玄関に溢れる靴、子どもたちや大学生であふれかえる部屋、そこかしらこで交わされる子ども同士、子どもと大学生のやり取り、笑い声。それが、私が覚えている「無料塾ひこぎ」です。

学校でも家庭でもない、サードプレイスとしての子どもたちの居場所。その重要性を肌で体感した私は、卒業後は放課後等デイサービスの支援員として働き始めました。子どもたちが心から安心できる大人であること、場所を提供すること。その信念は、ひこぎで過ごした時間から生まれたものでした。

いま、私は二人の息子を育てるひとり親です。子どもたちは地域の方々に見守られ、たくさんの人と関わり、ときに子ども食堂などを利用しながら、のびのびと育っています。親として未熟な私ですが、子育てで心がけていることは、彼らが一人でも多くの大人と関われるようにすることです。サードプレイスをもって育つことは、彼らの人生の基盤を固めることに繋がるはずだから。そう信じる私の心の中にはいつも、ひこぎでの景色が広がっているのです。

あの頃一緒に過ごした子どもたちは、みんなもう成人しているのでしょう。今も幸せに笑っていること、ただそれだけを願っています。

猛暑の夏がやってきました！飲み物について

夏休みまであと少し、教室には冷房が入っているとはいえ登下校は暑いですね。特に下校時間は最も暑い時間帯で熱中症など気にかかります。晴れていても水泳やグラウンドでの体育は中止になるようで学校の様子も様変わりですね。

子どもたちも水筒は必需品ですが、中学生など部活帰りにそのままひこざに来る塾生は水筒が空っぽでも大丈夫！冷えた麦茶を用意して待っています。お茶は十分ありますが可能な方は持参していただけると助かります。先日、社会福祉協議会からノートを頂きました。夏休みにはレトルト食品や果物を頂戴できるそうです。「感謝！」

年々猛暑日が増えていく夏ですが今年も元気で乗り切りましょう。夏休み中は、時間に余裕があれば早めにきて（16：30～以降）自習してもらうこともできます。ひこざを活用ください。また、大学生も夏休みで8・9月は各自の予定が入り担当者が休みをとることもあるかと思いますがどうぞご理解ください。（森本）

一般社団法人 TRIGGER

コープみらい財団
2024年度「くらしと地域づくり助成」

上記の皆様は令和7年度活動をご支援いただいています。ありがとうございます。

編集後記

梅雨も明け始め、だんだんと夏らしくなってきましたね。気温が高くと、汗をたくさんかくし、日焼けをするし、行動も少し鈍くなることが多いのではないかと思います。このように夏は、嫌に感じられることはたくさんありますが、それ以上に、わくわく楽しい地域のお祭りや花火大会、海や川、山などの避暑地への旅行など、夏らしい楽しいことが盛りだくさんです。暑さ対策を万全にして、年々暑くなっているのはいますが、夏という季節を自分なりに楽しめたらいいと思います。

ひこざ便係 三年 木村

無料塾「ひこざ」：〒338-0825 さいたま市桜区下大久保816（埼玉大学前）
Tel ・ fax：048-628-3932

（火・金の16:00～20:00のみ）

Mail：info@hikoza2014.com

HP：www.hikoza2014.com

ホームページQR

新ホームページ

